



工高タイムス

北海道旭川工業
高等学校新聞局
〒078-8804
北海道旭川市緑が丘
東4条1丁目1-1
発行人(局長)
村岡 良祐
(工業化学科2年)

工業クラブ大会

計算技術競技

団体2位に

課題研究発表

プラ再生で奨励賞

第43回北海道高等学校工業クラブ大会が1月16～17日に滝川工業高校で行なわれた。7校23人が出場した計算技術競技で情報技術科3年生は団体2位になり、個人では吉岡瑛太君が3位、阿部泰知君が4位、志賀竜也君が6位に入賞した。また、14校が出場した課題研究発表で工業化学科3年の吉岡新志君と鹿原挑夢君が奨励賞を受賞した。

吉岡君3位入賞

本番を意識して練習

計算技術競技は四則演算、関数計算、実務計算Ⅰ、実務計算Ⅱ、方程式・不等式計算の5分野を各30点満点で速さと正確さを競う。



団体で表彰される吉岡君 写真提供：花田健先生

局説

1、2年生の皆さんはどのような進路を考えているのだろうか。今年度の進路状況について進路指導部長の長谷川哲哉先生に取材した。

3年生の就職者と進学者の比率は6対4で、例年に比べ進学者の割合が増えているという。しかし企業からの求人は年々増加傾向で「売り手市場」と呼ばれる状態だ。長谷川先生は「1年生は日々の勉強や生活をまじめに

相談が大事

進路次は私たちの番

2年生については「進学先や就職先が多くて迷うと思うが、親や先生と相談し、自分に合う学校や企業を見つけよう。もし合わない

2級土木施工管理技術検定の第一次検定試験に土木科3

2級土木施工 合格率88%

今年から新問題が加わる

いと中途退学や辞職につながる場合があるからだ」と話した。

具体的な受験先が決まったら、オープンキャンパスや会社見学に行き、自分で雰囲気確かめるのが重要だという。会社見学をする際は学校を通じて申

請が必要なため必ず担任の先生に相談しよう。先輩方も同じように進路を決めてきた。今度は私たちの番だ。

空手の経験を生かす ボクシングW級で全国へ 荻原魁大君(土2)



趣味はバスケ

大阪府で3月25～30日に行なわれる第36回全国高等学校ボクシング選抜大会にウエルター(W)級で出場する。

体力がないほうなので、2分3ラウンドを戦えるように走り込みやサンドバックの打ち込みをしている。全道大会の時に積極的に動けなかつ

たので、対人戦で足を動かすことを意識して練習している。対戦相手のリーチが自分より長いので攻撃が当たらないように、スピードと距離感を大事に相手の懐(ふところ)に入れるように頑張る。小学3年生の頃から空手道をやっていて、空手道の地区予選で優勝したことがある。空手道でフットワークの練習もしていて、相手との距離を縮めるのが得意なので、ボクシングにも生かしている。旭工に入学してからボクシングを始めて全国大会に初出場するので優勝を目標に頑張る。

貴重な体験に 目標を設定する

工業化学科の吉岡君と鹿原君は課題研究発表でペットボトルのキャップから燃料を抽出した「プラスチックの再生と利用」について発表し、奨励賞を受賞した。

吉岡君は「大人数の前で発表できる機会はなかなかないので貴重な体験ができて良かった。発表自体は最高に良かった。発表者の中で自分たちだけが台本を用意せずにアドリブだけでやる戦略を取ったこともあり、プレゼンテーションの能力を発揮できた。

上位入賞を逃したのは研究内容や過程などうまくいかなかった点があったからだと思う」と語った。また後輩に「大会では賞を取る以外の目標を持つと収穫が多い。私はプレゼンテーションの能力があるかどうかを確かめる目標を立て手ごたえがあった」とアドバイスした。

生や社会人を含めた全国の平均合格率は44・6%。検定試験は今年から新問題が加わり、問題数が40問から45問に増え、今まで24問以上で合格だったのが27問以上に変わった。

合格した北島叶惟君は「2年生の時から試験勉強をしてきたので合格できてうれしい。勉強は過去問を中心的に取り組み25回分を解いた。間違えた問題は解答を見て覚えた。本番では過去に出た問題は解けたが、新問題の対策をあまりしていなかったのが失敗だった。苦手な範囲の問題は何回も解いて覚えた。専門科目の授業で学んだことを生かし、放課後は毎日勉強に取り組んだ」と語った。後輩には「しつ



私はスノーボードに初挑戦した。去年の12月からやってみたかったが、スキー場に行く時間がなかった。ようやくスノーボードをやるという目標を達成できてうれしかった。1月に東川町にあるキャンモアスキービレッジに2日間行った▼1日目はユーチューブの動画を参考にして滑った。動画にある「このは」という滑り方を試してみると、15分くらいで何とか滑れるようになった。練習した後におなかが出たので、ロッジに行って久々に醤油ラーメン食べた。おいしかった。午後からは一番短いリフトに乗って、いざゲレンデまで滑ろうとしたが、勇気が出ずに20分くらい景色を見ていた。景色はとても綺麗で心が休まったところで滑ってみた。最初は転んでばかりだったが5分ほど続けていたら、あまり転ばずに滑れるようになった▼2日目はそこそこ慣れてきたので、スノーボードがよくやっている方法に挑戦した。「直滑降」と「カービング」という方法を練習した。最初の直滑降ではスピードが速くてうまく立てなかったが、練習していくうちに少しだけできるようになった。カービングはうまくできなかったが、ほんの少しだけ曲がれるようになった。とてもうれしかった▼今回のスノーボードでは、新しいことに挑戦するのは楽しいと改めて実感できた。そして技術的なことを自分で考えて完成形に近づけることで、達成感や幸福感も味わえた。(化2杉野)

初の全道ベスト4

バレー新人大会

強豪校との接戦を制す

「チームの追い風になった」

バレーボール部は1月31日～2月2日に函館市と北斗市で行なわれた第20回北海道高等学校バレーボール新人大会に出場し、4位の成績を収めた。

バレー部は1回戦で札幌藻岩高校に2-1、2回戦で函館工業高校に2-0、準々決勝で北海道高校に2-0と強豪校を次々と破った。準決勝で



4位に入賞したバレー部 写真提供：椎野泰彦先生

北海道科学大学高校に、3位決定戦で東海大学付属札幌高校に敗れ、4位となった。バレー部は新人大会で初の全道ベスト4に入った。

部長の大澤伶夢君(機2)は「目標としていた全道ベスト4に入れたことがうれしい。チームで楽しくプレーができた。全道に向けてレシーブを一番に練習を行なった。初戦では選手権大会で全道ベスト4の札幌藻岩高校に対して1セット目を取られ、苦戦したが、2、3セット目で旭工のプレーを発揮した。その後の試合でも函館工業高校や北海道高校などの強敵を倒したことが強みと自信になり、チームの追い風になった」と話した。大会を振り返って「接戦を制する実力が付いたが、勝った試合と負けた試合のどちらも旭工チームの本調子が出るまで時間がかかってしまった。

土台となるレシーブを全道大会に通用するレベルに引き上げて攻撃につなげたい」と話した。また今後について「全道でベスト4に入ったことに浮かれず、強さをキープできるチームでありたい。そのためにも来年度新入生が入ってくるのでチームの雰囲気をつかりとまとめていきたい」と抱負を語った。



検定の合格を喜ぶ土木科1年生 写真提供：井内啓人先生

美術部 古俣君が優秀賞 道展U21 問題提起を作品に込める



審査員から講評を聞く古俣君(左) 写真提供：福澤等先生

美術部の古俣君(建1)が第15回道展U21で優秀賞を受賞した。86人が応募し、優秀賞以上は218人。作品は1月31日～2月2日に札幌市民ギャラリーで展示された。作品名は「キャンセルカルチャー」。古俣君は「猟友会の猟銃問題のような術書を買う」と話した。

コンクリート製品検定 初級

土1受験者全員が合格

土木科1年生は12月4日に応用力学実習室で行なわれたコンクリート製品検定を受け、受験した39人全員が合格した。検定では電柱やヒューム管(土管)など事前に工場で作られたコンクリート製品(プレキャストコンクリート製品)について出題される。

HR委員長の佐竹輝辰君は「今年からの検定を受ける」と聞いてプレッシャーがすごかったが、全員が合格できてうれしい。授業で学んだことを動画で視聴しながら伊藤智教先生と井内啓人先生、椎野泰彦先生に詳しい説明を受けた。生徒同士で問題を出し合ったり、模擬試験問題をたくさん解いて勉強した。土木関係の企業に就職したらコンクリート製品をたくさん使うので取得できて良かった。次はより上級の合格を目指したい」と語った。



準優勝した熊の雪像「ぼくはらべこ」

美術部

旭川冬まつり高校生雪像甲子園

1年生3人が準優勝

「バランスよく作れた」

第66回旭川冬まつりが2月6～11日に石狩川旭橋河畔の会場で行なわれた。美術部の架田祥喜君(情1)、谷藍衣さん(化1)、大田泰士君(電1)が制作した熊の雪像

した。雪像甲子園には13チームが参加し、2月1日に3人1組で一つの雪像作品を9～18時までの間に制作した。1年生チームのリーダー架田君は「全体的にバランスよく作れた。バランスの悪いところを3人でカバーできた。制作時間は5～6時間で想定よりも2時間も早く終わった。序盤はスピードを意識して素早く削って、中盤と終盤は形

を整えるために慎重に時間をかけて行なった。途中で足を削り過ぎて崩れるかもしれないとドキドキした。準優勝でうれしい気持ちもあったが、優勝を目標にしていたので悔しかった。副賞の商品券は3人で分けて、自分は貯金したい」と語った。

2年生チームのリーダー須田君は「怖いイメージのキャラクターなので顔を大きくし、自分の部屋に飾る」と話した。